

令和5年度 第3回 宝塚市立図書館協議会会議録

日 時：令和6年3月4日(月) 13時30分～15時30分

場 所：中央図書館研修室

出席者：委員 上野委員、今北委員、藤井委員、三浦委員、細田委員、
(欠席：神崎委員、山崎委員、林委員、谷内委員)

市 永尾中央図書館長、近藤中央図書館係長、花村中央図書館係長、
野村中央図書館係長、藤野西図書館係長、藏野西図書館係長、
西川中央図書館職員、時任中央図書館職員

【会議内容】

(永尾中央図書館長)

本日は公私ご多忙の時期にも関わりませず、図書館協議会にご出席賜り、厚く御礼申し上げます。
事務局から、本日の協議会の委員の出席状況について報告いたします。

(西川中央図書館職員)

協議会規則第4条第2項に規定しています定足数につきましては、9名中5名が出席いただいております、過半数を超えていますので、本日の協議会が成立していることをご報告いたします。

(永尾中央図書館長)

それでは、議事に入ります。議長は前回と同様、上野委員長にお願いします。

(上野委員長)

(傍聴者なし)

議長を務めます上野でございます。どうぞよろしくお願いします。

議事「(1) 令和5年度事業報告」を議題とします。事務局より説明願います。

(永尾中央図書館長)

1 2月開催の第2回図書館協議会以降に実施した事業について各図書館よりご説明申し上げます。

(近藤中央図書館係長)

中央図書館の事業をご説明します。「好奇心クラブ」は認知症にやさしい図書館の取組として、好奇心を刺激して認知症を遠ざけようという趣旨で始めました。「家族の介護体験」(12/23)、「季節を楽しむ折り紙」(1/29、2/19)を行いました。また、来年度になります、「はじめての断捨離」という講座も予定しています。次に「レコードコンサート in ベガ・ホール」(12/26)は、生演奏のコンサートですが、261名の参加があり、コロナ前の人数に戻っています。「デジタルミュージアム活用講座」(2/4、3/9)では、デジタルミュージアムの活用につけて頂けるよう宝塚市の歴史に関する講座を行いました。

子ども向けの行事「いっしょにASOBO!クリスマス会」(12/17)では、市内の英語教室の講師の方による英語での絵本の読み聞かせとうた遊びなどを行い、多くの親子にご参加いただきました。その他、「としょかん福袋」(1/4～)などを行いました。

(藏野西図書館長)

西図書館の事業をご説明します。「人形劇」(11/26)は17名の参加がありました。「斉藤洋先生子ども向け講演会」(12/10)は、前半157名うち子ども75名、後半72名うち子ども24名の参加がありました。講師が客席の間を回り、子どもと楽しくやりとりするなど、子どもたちの記憶に残る講演会になったと思います。講演後もサインや写真撮影に快く応じてくださり、アンケートでもとても楽しかったと

の感想をいただいています。「ぬいぐるみのおとまり会」(12/16)は恒例行事で、59名の参加がありました。大好きなぬいぐるみと離れられず泣いてしまい、結局ぬいぐるみを預けられなかったお子さんもおられました。「司書が選んだ福袋」も恒例行事ですが、今年は大人向きの福袋も用意し、好評でした。また、子ども向きの福袋については、今年から会計年度任用職員も準備に携わり、バラエティに富んだ福袋になったことがよかったと思います。

(近藤中央図書館係長)

「小浜・安倉分室 わくわくこども春まつり」(3/16)は、小浜・安倉分室を広く知っていただく目的で、読み聞かせや缶バッジ製作などを行います。

3/20～4/3の間、コンピュータシステム更新と、棚卸のため全館休館します。棚卸では、全蔵書の点検を行います。

(上野委員長)

議事(1)につきまして、説明を踏まえて、質疑がございましたらお願いいたします。

(藤井委員)

福袋はいつまでやっていますか。どれくらいの数を作っていますか。

(永尾中央図書館長)

福袋が無くなり次第終了となります。中央図書館は100袋です。

(蔵野西図書館係長)

西図書館は約170袋です。

(三浦委員)

長期の休館になりますが、春休みに重なっています。知らない方も多いと思いますが、どのように広報していますか。

(近藤中央図書館係長)

広報たからづか、図書館HP、宝塚市HP、図書館窓口、館内掲示で広報しています。また、図書館だより3月号1面に掲載していますが、図書館だよりは、各サービスステーション、人権文化センター、児童館等に配布しています。市立小・中学校に送付しており、学校によっては掲示していると聞いています。

(三浦委員)

生徒一人ひとりには配布していませんか。

(近藤中央図書館係長)

市立小・中学校に図書館だより送付しており、学校によっては掲示していると聞いていますが、ひとりひとりに配布はしていません。

(上野委員長)

春休みに重なるということで、休館のタイミングとして、これ以外の選択肢はなかったのでしょうか。

(近藤中央図書館係長)

現コンピュータシステムの契約が3月31日までとなっており、それまでにデータ抽出等の多くの作業を行う必要があり20日からの休館としています。また、新システム稼働の4月1日には、テスト等を行う必要があること、西図書館と中山台分室については4月1日が施設の休館日にあたることなどを考慮して、水曜日の全館休館日明けの4月4日から開館としました。

(藤井委員)

システムに係る費用は上がるのですか。

(西川中央図書館職員)

先日入札が終わり、額は少し上がります。

(上野委員長)

次に、議事「(2) 令和6年度事業予定」について、事務局より説明願います。

(西川中央図書館職員)

まず、中央図書館の来年度予算の概要を説明します。令和5年から中央図書館管理運営事業と中央図書館管理運営事業・建物保全に分かれています。建物や設備の補修や更新などの大きな費用が「建物保全」として別建てになったことにより、通常の経費についての前年比較がしやすくなりました。経常経費については、前年比850万円ほど上がっています。これは、主に委託料約460万円増、図書館システム借り上げ料約520万円増によるものです。委託料は、長期契約の切り替え時期にあたり、5年前に比較して人件費や物品費等が大幅にあがっていることにより高くなりました。図書館システム借り上げ料は、昨年は1年の再リース期間のため低く抑えられていたため、今回は大きく上がりましたが、5年前と比較すると若干の増になります。

建物保全については、空調設備更新工事は令和5～7年度に亘る工事、非常用発電機更新工事は令和6～7年度に亘る工事です。

次に西図書館の予算概要ですが、こちらはほぼ前年通りの予算となっています。建物保全でエレベーター更新工事設計委託料があがっていますが、令和6年度に設計委託、令和7年度に工事となります。

(上野委員長)

議事(2)につきまして、説明を踏まえて、質疑がございましたらお願いいたします。

(藤井委員)

図書運搬委託業務は、図書館と分室を回るものですか。

(西川中央図書館職員)

市内の2図書館3分室のほか、サービスステーションなどの返却ポイント14か所を水曜日以外の毎日回っており、その運搬委託料が年間510万円です。

(藤井委員)

市役所の文書の運搬とは別に図書館で回しているのですね。

次の移動図書館車運行管理は、運転手も含まれますか。

(西川中央図書館職員)

運転手と車検など車両の管理の委託料です。運転手以外は図書館職員が乗務します。

(藤井委員)

中山台分室は窓口委託ですね。

(西川中央図書館職員)

窓口委託の人件費となります。

(藤井委員)

次の指定管理料(ふれ愛ライブラリー(西谷会館))は、リサイクルの本を置いているところの開館時の人件費ですか。

(西川中央図書館職員)

指定管理者が管理する複合施設の西谷会館のうち56㎡を図書館が使用しており、面積按分で清掃料や施設管理を負担しています。

(藤井委員)

西谷地区は宝塚市の4割の面積があるものの人口は3000人ぐらいということで、図書館サービスを公平に提供するのには効率的に難しいと思われませんが。

(永尾中央図書館長)

西谷地区に分室を、というご要望はお聞きすることもあります。効率面では難しく、移動図書館でカバーしています。

(藤井委員)

西図書館の予算の中で、食糧費というのは何か。

(蔵野西図書館係長)

講座開催の際に講師に提供するペットボトルの水の費用です。

(藤井委員)

備品購入費の庁用器具費は何ですか。

(蔵野西図書館係長)

児童室の書架を毎年1本ずつ購入しています。

(藤井委員)

エレベーター更新工事は、西公民館との按分ですか。

(蔵野西図書館係長)

図書館側のみにあるエレベーターなので、図書館のみの工事費になります。

(上野委員長)

次に、議事「(3)「宝塚市子どもの読書活動推進計画(第4期)」について」事務局より説明願います。

(永尾中央図書館長)

第2回図書館協議会において、委員の皆様にご意見を頂戴した「宝塚市子どもの読書活動推進計画(第4期)」ですが、2月13日にパブリック・コメントの募集を終え、資料の通り結果を公表する予定です。

受付件数33件と大変多くのご意見を頂戴し、その内、3件の意見を取り入れ計画案の修正をいたします。図書館協議会の皆様にいただいたご意見は、パブリック・コメント募集の前に計画案に反映しました。ご協力ありがとうございました。

(蔵野西図書館係長)

内容についてご説明します。18名の方から33件のご意見をいただきました。学齢期の読書活動の推進については、特に学校図書館や学校司書の充実と図書ボランティアの研修について、市立図書館での読書活動の推進については、図書館を中心とした連携の継続と充実のほか、子どもの読書に関わるボランティアの養成、中・高生世代対象の読書推進、電子書籍の導入についてのご意見をいただいています。計画全般について、子どもの読書活動の重要性に関するご意見を多くいただき、市民の関心の高さを実感しています。パブリック・コメントの結果を受けての修正は3か所です。「そうぞうりよくをゆたかに」の記述で、「想像」と「創造」の混在を、「子どもの読書活動の推進に関する法律」第二条(基本理念)の文言「創造力を豊かに」に統一したこと、子どもの読書活動の状況のグラフの色をモノクロ印刷になっても分かるようにパターン表記に修正したこと、参考指標の表の「基本目標」を「基本方針」に修正したことです。パブリック・コメント以外の修正は、脱字の修正が1か所ありました。

(永尾中央図書館長)

今後の予定は、3月8日に教育長に説明、3月21日に教育委員会協議会で報告、その後、市議会等へ

も結果の報告を行います。併せて、パブリック・コメントの結果を約1か月間、市ホームページに掲載し市民に公表します。4月以降には、冊子の印刷を行い、関係者に配布するとともに、市ホームページに計画本編・概要版を掲載し周知や啓発を行ってまいります。

(藤井委員)

回答はどこが作成しましたか。

(永尾中央図書館長)

学校および学校図書館については学校教育課が、市立図書館については市立図書館が、地域児童育成会については青少年課が回答を作成しています。図書ボランティアを支援している社会教育課にも一部回答作成をお願いしました。

(藤井委員)

パブリック・コメントで細かいところまで指摘されており驚きました。

図書館見学についての意見がありましたが、全校見学を受け入れていますか。

(永尾中央図書館長)

図書館から近い学校は見学に来られていますが、徒歩で往復できない学校は見学に来られていません。

(藤井委員)

移動図書館は学校に行っていないのですか。

(永尾中央図書館長)

移動図書館が出張しますとお知らせはしていますが、今のところご要望がありません。こちらの周知方法に問題があるかもしれません。

(藤井委員)

移動図書館で学校に行くというのを進めるべきだと思います。

読書手帖を学校にも、という意見がありましたが、それは難しいとしても、タブレット端末を活用する方向で検討すればと思います。

ボランティアの養成についての意見が複数ありましたが、おはなし会などでボランティアのお誘いのようなことはされていますか。

(永尾中央図書館長)

ボランティアの数は減ってきています。西図書館では毎年ストーリーテリングボランティア養成講座を行っていますので、中央図書館でも講座を行ってほしいという要望があります。ホームページや館内掲示などでボランティア活動を紹介したり、各グループが読書会などを開催して参加者をボランティアにお誘いしたりしていますが、新規ボランティアを増やすことは難しく、課題であると認識しています。

(藤井委員)

電子書籍については、メディアリテラシーの問題もからめて回答されてもいいのではと思いました。

泉大津では、子ども読書の計画策定の際に子ども対象のワークショップをしたそうですが、宝塚ではなにか子ども対象にされましたか。

(永尾中央図書館長)

子ども対象のワークショップ等はしておりません。子ども目線の計画を、ということについては、議員の皆さんからも、このパブリック・コメントにもご意見をいただいております。また、計画の中にも「子どもの視点に立った読書活動の推進」をあげていますので、この計画期間中に検討すべきと認識しています。

(三浦委員)

24番に学校図書室の選定、子どもへの本の薦め方についての意見がありましたが、選定基準などを市民に明らかにしておくとう理解が深まるのではないのでしょうか。

(蔵野西図書館係長)

市立図書館の廃棄選定や購入選定については基準がありますが、所蔵している本を恣意的に見せないということではできませんので、様々なご意見はあると思いますが、本の選定について皆さんにわかり易く伝えることが必要だと思います。ご意見ありがとうございます。

(永尾中央図書館長)

学校司書さんは、非常に工夫して、ポップや飾りによって手に取りやすいような展示をされています。どのような本を展示するかについては、学校司書の方の独自性もあれば、学校の先生からの授業に合わせた要望もあると思います。子ども時代には読書に楽しみを感じてほしいというお気持ちもわかりますが、一概にはいえないと思います。

(今北委員)

24番のご意見にある「イジメの本が並べてある」ということですが、たぶん、教育委員会から、12月のイジメ防止月間について保護者や子どもにPRするよいうという通知があり、学校によっては学校図書館でテーマ展示していたかもしれません。8月には戦争の本、1月には阪神淡路大震災の本などのコーナーを設けることもあります。

(三浦委員)

そのようなことがわかれば、このご意見の方も納得されるかもしれませんね。

(上野委員長)

司書の方は、努力して本を選んでくださっていると信じたいと思います。本来なら知らせたくないよいうことも、子どもたちが広い視野を持って選択できるよいう図書館であればと思います。

ブックスタート事業についてのご意見ですが、3冊とも持っていたので他の本がよかったということですが、図書館の回答では3冊とも持っている方には別の本を選べるということですよ。このような場合、この意見をくださった方に直接ご説明することはできませんか。

(永尾中央図書館長)

ブックスタートでは、3冊の本の読み聞かせをして、読み聞かせの楽しさをお伝えした上でその3冊から選んでもらうことを基本としており、3冊ともお持ちの場合のみ他の本をお見せするよいう流れで行っています。パブリック・コメントは匿名での募集ではありませんが、個別の回答はしない旨明記していますので、直接お答えすることはありません。

(上野委員長)

・次に、議事「(4) 市民アンケート、利用者満足度調査の活用について」事務局より説明願います。

(花村中央図書館係長)

令和5年3月25日～4月8日の間、図書館利用者に対して、カウンター等窓口でアンケート調査表を配布し回収したものです。配布枚数、回収率、総合評価とその前年度の比較について記載したものと、各館別に年齢、総合的な満足度、図書館サービスの最優先課題をグラフで表しています。最優先課題としては、図書・資料の充実が最も多く、大規模図書館の新設についてはそれほど多くありませんでしたが、複数回答であればもう少し多かつたかもしれません。アンケート回答の年代は、移動図書館と小浜・安倉分室については、70代以上の方が多いよいう特徴があります。山本南分室はやや若い層が多くなつています。自由意見欄については、中央図書館・西図書館は開館時間の拡大、休館日をずらしてほしい

という意見が複数あります。山本南分室については、午前中も開けてほしい、ブックポストを建物の外に出してほしいという意見が目立ちます。職員の応接については否定的な意見は少なく、お礼の言葉等が多かったです。

(永尾中央図書館長)

第1回の図書館協議会でご報告した無作為抽出の「市民アンケート」と今回ご報告した「利用者満足度調査」について、図書館業務の改善に活用していますが、前回、上野委員長より、アンケートの更なる活用について図書館協議会で議論しては、とのご提案をいただきましたので、皆さんのご意見を伺えればと思います。

(上野委員長)

市民アンケートの報告を受けた際、このアンケートはどこに報告しているかという質問に対し、図書館協議会と教育委員会に報告しているという回答でした。もっと広く活用してはどうかというご意見があり、私もそう思いました。神戸市の元中央図書館長の方にお話を伺うことがあり、「10年ほど前、市長に直接談判して、図書館を教育委員会から市長部局の市民参画推進局に所管替えてはどうかと提案した。様々なことで負担が大きくなっている教育委員会から離れることで図書館行政にもメリットがあると考えられた」というお話でした。せっかく市民の生の声をお聞きしたアンケートがあるので、これを政治的に利用できるのではないかと思ったので、委員の皆さんや事務局のご意見を聞きたいと思い、議題にすることを提案しました。委員の皆様、ご意見はございませんか。

(藤井委員)

自由意見に、中央図書館では日付を押ししたしおりがあるが、西図書館ではない、というものがありました。実態はどうなっていますか。

(永尾中央図書館長)

貸出一覧と返却日を印字したレシートをお渡しするようになり、しおりの廃止も検討しましたが、しおりを希望される方もおられるので、中央図書館では少しだけ日付を押ししたしおりを用意しています。

(藤井委員)

山本南分室についての自由意見では、開館時間の拡大を希望する声が多いですが、前回、開館時間は現状でMAXだとお聞きしました。ブックポストを外に、という意見も多いですね。中央図書館では、閉館後ロッカーを出しているようですが、どのような運用ですか。

(永尾中央図書館長)

準備ができている予約図書について、利用者から電話で夜間受け取りの希望を受けた場合、貸出した本をロッカーに入れ、閉館後受け取っていただきます。西図書館は、9時まで開館している西公民館窓口での予約図書の引き渡しを行っています。

山本南分室については、午後からしか開いていない月曜、火曜の午前中開館への要望が多かったです。

(藤井委員)

宝塚の場合返却ポイントは十分整っており、あとは本の貸出だと思いますので、山本南分室でも夜間ロッカーによる予約図書の貸出を検討してもいいのではと思いました。

移動図書館については、他市ではスケールダウンしているところも多いですが、宝塚の場合山の上に住宅地が多く、減らすことはできないと思います。西谷はもう少し充実させてもとも思いましたが、人口規模からいっても現状程度が妥当かとも思います。

山本は利用の多さから見ても開館時間や広さに不満があるのはわかるので、なんらか対応を考えるべきかと思います。

(永尾中央図書館長)

山本南分室については、図書館協議会からの意見書もいただきましたので、拡張に向けて予算要求をしましたが、残念ながら予算がつきませんでした。施設の管理者と協議しながら、分室の外側の書架を利用できないか、また、ブックポストを建物の外に置けないか検討したいと思います。中山台分室、小浜・安倉分室についても、ブックポストについては施設側と協議をしていきたいと思います。

西谷につきましては、地理的な要因もあり、予約図書の出取は行っていませんが、ふれ愛ライブラリーとサービスセンターで図書の返却はできるようにしています。本の回収は週2回の本庁メール便を利用しています。

(藤井委員)

図書館の図書運搬業務には含まれないのですか。

(近藤中央図書館係長)

毎日行っても返却本がない日が多いと考えられますし、西谷に毎日回ると、倍以上の経費がかかると思います。

(藤野西図書館係長)

西谷地区は、三田市と猪名川町に隣接しており、商業施設を利用する方がそちらの図書館を利用している場合も多いようです。このことは、西谷地区の方の宝塚市立図書館利用がそれほど多くない要因のひとつと考えられます。

(上野委員長)

山本南分室では、高齢者の利用が少ないようですが、どのような理由が考えられますか。

(永尾中央図書館長)

山本南分室は非常にたくさんの方が利用されているので、高齢者の方が少ないというわけではありません。周辺地域の住民に若い子育て世代が多いという特徴があり、若い世代の利用が多いことで相対的に高齢者の割合が低くなっています。

(細田委員)

あまりにも課題の範囲が広く、専門家でない私には簡単に意見を言えないなと思いました。ひとつひとつ本当に大変でどうすれば解決できるか、簡単には思いつかないなと思いました。

(上野委員長)

この協議会は活発に意見を交換していますし、なんでも思いついたことを言っていただければ、それが何かのヒントになるかもしれませんから、どうぞ遠慮なくご意見をおっしゃってください。

(細田委員)

図書館の仕事が本当に幅広く、大変だなと思いました。予算がたくさんあればいいのですが、市民の意見をすべてくみ取ることも難しく、大変だと感じました。図書館にアクセスしやすいということも大切だと思います。先ほどイジメの本の展示についての話がありましたが、市立図書館はまず「知ってもらおう」ことが大切だと思いますので、今どんなことが問題になっているのか、どんな課題があるのかを知ってもらうために、展示などしていく必要があると思います。

(上野委員長)

協議会に参加されて、図書館職員の日頃の苦勞を感じていただいたことは良かったと思います。

(藤井委員)

宝塚の図書館はよく頑張っていると思います。新しく建った図書館はよく取り上げられますが、茨木市も最近オープンしました。泉佐野ではスーパーなどに予約資料受け取りロッカーを設置、豊中市では

豊中駅に予約資料受け取りのサービスポイントを開設、大阪市では阿波座駅に改札の内外から返却できる返却ポストを改札横に設置、堺市ではコンビニ返却の実証実験などが行われていますが、これらのサービスにかかる経費がはたして合うのかどうか、このような経費が増えて図書費が減ることになっても困るなどと思います。これからはコスト意識が大切で、もし指定管理の話が出てきた場合でも、その点でしっかり説明できるようにしておく必要はあると思います。

(今北委員)

自由意見欄に、丁寧な対応に感謝しているという意見がありますが、小学校でも子どもたちは、図書館の職員がやさしくて本を探すのを手伝ってくれたりするので、本を借りただけでなく、図書館の職員に会いに行きたいと言っています。自分も孫と市立図書館を利用しますが、孫は図書館の〇〇さんに会いたいから本を借りに行くと言っています。ソフト面やハード面で問題はあっても、大切なのはそこで働く図書館員の温かさややさしさだと思います。これからも子どもたちのための図書館であってほしいと思います。

(上野委員長)

自由意見欄を見ると感謝の言葉が多く、山本南分室も、見学した際は狭さに目がいてしまいました。少し見ただけではわからない魅力を利用者の方は感じておられるのだなと思います。

(永尾中央図書館長)

予算要求の場では、説明不足のためなかなか予算をつけてもらえないのですが、このような市民の意見を丁寧に伝えながら今後の予算要求に臨んでいきたいと思っています。

(上野委員長)

次に、議事(5)「意見交換等」についてですが、どなたかご意見等ありますか。

(細田委員)

図書館といえば子ども向けの行事が多いと思っていましたが、私も親が高齢なので、中央図書館で「好奇心クラブ」など高齢者向けの行事が増えているのはとてもいいと思いました。

(藤井委員)

自由意見に、新刊にすぐ予約が入るのはおかしいとの意見がありましたが、どのような状況ですか。

(花村中央図書館係長)

新刊図書は、データが入る前に申込書にてリクエストされた場合は、データ投入後受付日時順に予約を入れていきます。したがってホームページの新着図書一覧の多くに予約が入っている状況です。

(藤野西図書館係長)

好きな作家を登録すると、その作家の本が入った時にメールでお知らせする機能があるので、それを見てすぐに予約する方も多いいと思います。

(永尾中央図書館長)

自由意見欄に、予約冊数を増やしてほしいという意見も多いのですが、他市の状況と比較すると、予約冊数が多いところは本が用意出来るまでに時間がかかっています。そのバランスも考えて現在予約10冊としています。

(今北委員)

西山小学校では、学校応援団に保護者の方や地域の方など60名が登録していただき、絵本の読み聞かせなどを行っており、子どもたちも楽しみにしています。また、市立図書館のおはなしボランティアの方も学校図書館でのおはなし会をしていただきたいと思います。

(上野委員長)

次に、(6) その他についてですが、事務局からなにかありますか。

(永尾中央図書館長)

皆様の任期はあと1年ありますが、人事異動や代表の交代などで、今回の図書館協議会が最後になる方もおられます。お忙しいところ図書館協議会にご協力いただき、本当にありがとうございました。来年度の第1回図書館協議会につきましては、7～8月の開催を予定しています。改めて日程調整のご連絡をさせていただきますのでご協力よろしくお祈りいたします。

図書館でもメンバーの交代があります。私、永尾は、今年度で定年退職します。長い間ありがとうございました。また、中央図書館係長の野村も、一身上の都合により退職します。まだ来年度の両館の体制は決まっていますが、正規司書2名の採用は決定しており、若い力で宝塚市立図書館の発展のために頑張ってくれることと思います。図書館協議会の皆様におかれましては、今後ともご指導、ご鞭撻のほどよろしくお祈りいたします。本当にありがとうございました。

(上野委員長)

こちらこそありがとうございました。今後のご活躍をお祈りしています。

本日はこれで閉会します。長時間お疲れさまでした。